



い き い き

小 富 士 っ 子



R6 学校便り No8

令和6.7.19

四国中央市立  
小富士小学校

## 夏休みが始まります

今日で1学期が終了しました。明日からは子どもたちが楽しみにしていた夏休みです。梅雨も明けて、連日、暑い日が続いています。夏休みも暑さの厳しい42日間になると思いますが、子どもたちにとって充実した有意義な夏休みになるよう、暑さのケアもしながら、子どもたちの見守りをよろしくお願ひします。2学期始業式に元気いっぱいの小富士っ子に会えるのを楽しみにしています。

子どもたちには、終業式の中で、校長からのお願いとして「夏休みに頑張ってもらいたいこと」を三つ話しました。①いのちを大切にしよう（夏休みも感染症や熱中症などの対策をしっかりと行い、病気にもかからないように健康管理をしよう。交通事故や事件に遭わないように気を付けよう。地震や大雨など災害が起こったときには、絶対に自分の命を守る行動を取ろう。また、人のいのちも、そして、動物や植物も大切にしよう。）②きそく正しい生活をおくろう（普段と同じように、「早寝 早起き 朝ご飯」を守って、生活のリズムを崩さないようにしよう。そして、毎日「学習と読書」の時間を作ろう。ゆったりとした気持ちで過ごして、2学期に向けてエネルギーをためよう。）③かぞくの一員として役に立とう（皆さんはお休みでも、お家の人はいつもとおり仕事があるので、お家の仕事するのはやっぱり大変です。だから、お家の仕事の中から自分ができることを見つけて、家族の一員として役に立とう。夏休みは、家族と過ごす時間も増えると思うので、その家族との時間を大切にしよう。）このように話しています。これらとは別に頑張ることを自分で決めている子もいます。子どもたちが夏休みに何か一つでも頑張れるよう励ましてください。



## オリンピック・パラリンピック

7月26日（金）にパリオリンピックが開幕（一部競技は先行開催）します。「東京オリンピックから早3年経ったのか」と思いにふけりながら、日本人アスリートの金メダルラッシュに胸躍らせた熱き夏の日を思い出しています。新型コロナウイルス感染症の流行真っ只中で開催した東京オリンピックでしたが、諸外国からは、日本の感染症対策を評価し参加する選手もいれば、不安で不参加を表明した国もあり、選手もいました。また、感染症対策の一つとして無観客試合にしたり、同行者の人数を制限したりすることに失望し参加を見送った選手もいました。国内でも開催に賛否両論があり、オリンピックによる経済効果が期待できないどころか、これまで準備に掛かった経費の回収すらできず赤字オリンピックになりました。しかし、



（裏面に続く）

この窮地を「近年のオリンピックは商業主義に偏りすぎているのではないか」という声について考えてみたり、オリンピック本来の目的を問い直してみたりする良い機会になった大会でもありました。オリンピックは、「スポーツを通して文化や国籍などの違いを越え、フェアプレイの精神を培い、平和でより良い世界を目指す」ことを目的としています。つまり、オリンピックはビジネスではなく、人類の調和のとれた発展に寄与するものです。東京オリンピックを通して、スポーツには、人の心を動かす力があることも改めて実感しましたし、東京オリンピックは、東日本大震災からの「復興オリンピック」としても意義があったと思います。ご存じのとおり、東京オリンピックは2度目の開催でした。1度目



に行われたのは、1964年の第18回大会でした。パラリンピックは、パリが第17回大会（8月28日開幕）になりますので、東京パラリンピックは2021年が第16回大会で、1964年は第2回大会でした。ちなみに、パラリンピックが、同一都市で複数回開催されたのは東京が初めてで、パリでパラリンピックが開催されるのは、今回が初めてです。1964年

の東京オリンピックの年にパラリンピックが東京で実施されていたことは、あまり知られていません。認知度が低いのは、わずか9競技で、22の国や地域のみでの参加で行われたこともあるかもしれません。ただ、この大会を契機に、障がい者スポーツが日本で広く知られるようになりました。今回開催されるパリパラリンピックは22競技、549種目が行われ、パリオリンピックの32競技329種目を大きく上回っています。しかも、オリンピック種目が東京オリンピックから10種目も減少しているのに対して、パラリンピックは12種目も増加しています。このことは、私たちの障がいに対する意識が着実に変化していることを示しています。ユニバーサルデザイン化がますます進み、社会のバリアがどんどん打ち砕かれていることをうれしく思います。私にとっての熱くて、睡眠不足に悩まされる夏休みが、いよいよ始まります。

